

【公開シンポジウム開催企画】

日本工学会 技術倫理協議会 第14回公開シンポジウム

<技術者倫理と企業倫理の相関と協働>

～よりよい社会に向けて～

日時：平成30年12月10日（月）13:00～17:20（交流会：17:40～19:00）

会場：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

開催趣旨：

高度科学技術社会における技術者及び技術に関連する企業の役割と社会的責任の重要性は明らかである。グローバルな視点で、人類が解決すべき課題を明確化したSDGs（Sustainable Development Goals）を達成するためには、技術者と企業の協働が不可欠である。SDGsの重要性を認識した経団連（日本経済団体連合会）は、2017年11月にその企業行動憲章を改定し、SDGsの達成に向けて企業が果たすべき役割を確認した。しかしながら、一方で、日本を代表する企業で様々な技術に関連する不祥事が昨今頻発している。その原因はどこにあるのだろうか。技術者倫理に問題があるのか。それとも企業倫理か。両者の関係はどうあるべきなのだろうか。

今回のシンポジウムでは、技術者倫理・企業倫理それぞれの分野の第一人者、また、現場でご活躍の方々をお招きし、技術者倫理と企業倫理の関係及び両者の協働の可能性について検討し、よりよい社会に向けて、技術者と企業が果たすべき役割について議論する。

主催：公益社団法人日本工学会 技術倫理協議会

【協議会会員】公正研究推進協会、電気学会、電子情報通信学会、土木学会、日本化学会、日本機械学会、日本技術士会、日本原子力学会、日本建築学会、日本工学教育協会、日本非破壊検査協会、日本マリンエンジニアリング学会

会場アクセス：JR田町駅、都営地下鉄三田駅（浅草線・三田線）徒歩3分

(<https://www.aij.or.jp/jpn/guide/map.htm>)

定員：120名

交流会：シンポジウム終了後、意見交換・交流会を開催予定です。

費用：①参加費：シンポジウム資料代：1,000円（予定）

②意見交換・交流会（希望者のみ、事前予約制）：3,000円（予定）。

いずれの費用も当日会場受付においてお支払いください。

参加申込方法：別紙の『参加申込書』に記入後、電子メール（eng@jfes.or.jp）またはFAXにて、下記の日本工学会事務局までお送りください。

問合せ先：公益社団法人日本工学会事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階

E-mail:eng@jfes.or.jp、Tel:03-6265-0672、Fax:03-6265-0673

URL:<http://www.jfes.or.jp/>

***** シンポジウムプログラム＜演題は変更する場合があります＞*****

1. 開会挨拶:石川 孝重 技術倫理協議会議長 (日本女子大学家政学部 教授)

2. 講演 (課題提供) 13:05～15:45 (休憩 : 15:45～16:00)

<講演者 : 演題>

・講演1: 掛谷 英紀 氏 (筑波大学システム情報系 准教授)

「技術倫理のGood Practice」

・講演2: 片方 喜信 氏 (東日本旅客鉄道株式会社鉄道事業本部安全企画部 主幹)

「JR東日本 「安全文化の創造」 の取り組みについて

ー事故の後追いから安全の先取りへのチャレンジー

・講演3: 大来 雄二 氏 (金沢工業大学科学技術応用倫理研究所 客員教授)

「技術者倫理・企業倫理と一般教養教育」

・講演4: 梅津 光弘 氏 (慶應義塾大学商学部 准教授、日本経営倫理学会 会長)

「科学技術と企業倫理」

3. パネルディスカッション 16:00～17:20 (パネリスト : 各講演者)

パネリスト : 梅津 光弘 氏、大来 雄二 氏、掛谷 英紀 氏、片方 喜信 氏

コーディネーター : 札野 順 氏 (東京工業大学リーダーシップ教育院 教授)